

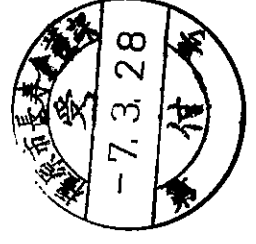
2024 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	施設長 橋本和也	法人・事業所の 特徴	住み慣れた地域で安心して暮らすことを支援します。 あすなただは、「10の基本ケア」をもとに、当事者の「普通の暮らし」を考え、その人らしく生活ができるように「自立支援」を実施します。 樫原神宮や畝傍山に近く。住宅地に馴染んでいる施設です。
事業所名	あすならホーム 畝傍	管理者	萱野麻美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	1人	人	1人	人	5人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	・引き続き利用者の声に耳を傾け、「～できる」「～したい」を形にしていける。そのためにも利用者の声をリーダーに集約しチームとして関わるようにしていける。	・時間帯やサービス形態が柔軟に対応できるサービスだからこそ、職員の負担が拡大している。	～したい」の実現について、利用者のご意向を積極的に聴くことができている。 ・記録の抜け落ち・記入の負担を減らす為、簡素化されたシートを作成するのはどうか？ 長々と記録するのではなく、「○」等をつけて記録できる箇所もあると思う。記録の工夫を凝らしてみてはどうか ・記録が十分に残すことが出来ないこと、時間を定めて会議が出来ていないのは、人員不足が関係しているのではないか。	・時間帯やサービス形態が柔軟に対応できるサービスだからこそ、ニーズに合わせ行動できている反面、職員の負担が拡大している。 サービスの質を保つ為にも記録、共有ができるように、一定整理して本人家族や地域にも理解を得られるように働きかけていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・事業所の特色である家庭的な雰囲気をもたないためにも、生活環境を定期的に見直すようにする。 ・5S活動を推進し感染症対策を徹底する。	車椅子をフロアに置くと、転倒事故につながる為、車椅子を置かない、車椅子で過ごさない取り組みをしている。利用者様に必ず椅子で過ごして頂き車椅子をフロアに置かないようにしている。	家庭的な雰囲気が維持できている。 家庭的な雰囲気を感ずるが、どのような事に意識しているのか？ ➡・業務効率の為の張り紙をフロア、居室にしないようにしている	・自宅のしつらえを継続してホームでも引用して、大きく生活の変化がでないようにアプローチする。 ・換気を1日8回以上実施。 ・フロアや居室は業務効率や伝達の為の張り紙をしない。伝達はヘルパー室で完結する。

C. 事業所と地域のかかわり	・週2回の移動販売、月6回の体操・ランチを継続し、地域の人々が気軽に集まれる場となるように努める。 ・学習会を地域に開催し学習の機会を広げる。(春と秋の学習会・サロンの短時間に)	・週一回となったが、移動販売車は継続できており地域との交流の場になっている。 ・5.0のつく日に、学習の場を設ける事ができている。	・職員、まちかどネットが協力し、ランチ企画を熱心に行っている	継続して週1回の移動販売、月6回の体操・ランチを継続し、地域の人々が気軽に集まれる場となるように努める。 ・春と、秋の学習会の際、利用者に喜ばれた事例を報告し、地域の方にケアの取り組みを知って頂くと同時に職員の教育の場とする。
D. 地域に向かい本人の暮らしを支える取り組み	・利用者宅へ訪問や送迎時に地域の方がいればご挨拶をすることで関係性を構築し支援の連携ができるようにする。	・訪問は通い泊りの馴染みの職員が訪問する事で安心感をもっていただけた支援が出来ている。	・看取り：独居の方で親族が近くにおられない方はどのような看取りをするのか→必ず本人の希望を伺うようにしている。	・訪問は通い泊りの馴染みの職員が訪問する事で安心感をもっていただけた支援を意識する。 ・定期的な訪問に合わせ随時対応を行う
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・年に6回会議を開催し、情報交換を密にすることで運営にも反映していく。	特にご本人に出席していただく事が多く、生の声を地域や各機関に届ける事ができた。	特になし。	・積極的に利用者様本人に出席して頂く。サービスの改善点や良かった点を発言していただき、地域と協同にて意見を頂戴し、その検討をする。
F. 事業所の防災・災害対策	・作成したBCPをもとに連絡網や備蓄関係の見直しを定期的の実施していく。 ・事業所の避難訓練に地域住民も参加してもらおう協議を関係者とおこなう。	・備蓄の管理、その内容の維持ができています。 ・地域の方の都合が合わず、参加率としては低い。	・あすなろホーム畝傍が「福祉避難所」として知られていない。地域への周知が必要ではないか。 ・防災訓練をしていることは知っているが、あまり参加できていない。防災訓練をする際、声掛けをしてほしい。 ・施設としての備蓄はおいっているのか、備蓄場所は把握されているか。	・作成したBCPをもとに連絡網や備蓄関係の見直しを定期的の実施していく。 ・事業所の避難訓練に地域住民も参加してもらおう協議を関係者とおこなう。 ・継続して、災害用備蓄を行う。 ・地域参加型の避難訓練の実施の検討



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月12日(9:00 ~ 12:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	2人	13人

前回の改善計画 ・朝礼の時間帯を朝にこだわらずお昼前後など柔軟に調整する。 ・朝礼に参加できなかった職員には、当日の現場リーダーが口頭で伝える。 ・初期支援の利用者さんには職員一人ひとりが傾聴する時間を意識的につくる。
前回の改善計画に対する取組み結果 ・朝礼をやめ、昼礼に変更した。 ・今までリーダーは1人であったが、3人に増やしたことで、伝達する体制を整えた。 ・初期支援の利用者さんに担当をつけ、傾聴する時間をつくった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	11	1	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	0	1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	1	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・朝礼にこだわらず、時間調整を行い、昼礼をするように時間変更をした。 ・ウェルカム張り紙をしたり、新規利用者には担当をつけた。 ・新規利用者に対して、書類・情報をもとに、出勤職員同士で確認しあう体制ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の受け入れ状況によって、昼礼が持続的にできなかった。 ・初期支援の利用者さんへの担当の役割を明確にできなかった。 ・泊り、通い、訪問のサービスがあるため、情報量が多く、まとまらないことで、抜け・忘れを発生した。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、新規利用者を受け入れる日は担当をつけ、傾聴することができる日程を調整する。 ・職員全員で集まることは難しいため、出勤職員で時間にこだわらず、小ミーティングで情報共有する場を確保する。	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	6人	2人	13人

前回の改善計画	・「～したい」を実現することも大切な業務と位置付ける。現状、日々の業務に追われて出来ていないため、リーダーが職員からの意見をヒヤリングした上で、チームとして関われるよう行動計画を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「～したい」というご意向は積極的に聴けているが、記録として十分に残すことができていないため、チームとして動くことに難しさがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	8	3	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	8	3	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	4	1	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	2	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「～したい」というご意向を伺う機会や会話は積極的に設けられている。 ・「歩きたい」、「家に帰りたい」等、ご意向はかなえられている。 ・家に帰りたいという利用者に対して、在宅復帰を目標とした一時帰宅や、柔軟な対応を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご意向を受け止めた後、個々が記録する→共有する→会議→実現までには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご意向をうけとめ、個々が記録・共有して、積極的に会議を行い、チームケアにつなげ、自己実現につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日(9:00～12:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	1人	1人	13人

前回の改善計画	・利用者の「以前の暮らし方」の情報を得たら支援経過記録に記入し共有する。 ・自宅の家具の配置や生活状況を写真で記録し、訪問者以外の職員にも具体的な共有ができるようにする。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・初回利用者に関し、家族へご本人の歴史がわかる書面を作成して頂き、共有ができている。 ・写真の共有を行い、訪問に外出しない職員も共有できるようになりケアに活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	12	0	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	3	7	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	2	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	5	5	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者家族の協力もあり、ご本人の歴史がわかるようになり、ケアや日頃の判断材料となっている。 ・写真は効果的で共有が迅速となった。申し送りの際の齟齬の減少となった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族の協力により書面やデーターにて残しているが、支援経過には残せていない。 ・職員のための収集では情報が膨大となり、データーで残す時間が極めて難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・家族、地域、住民と協力しながら、引き続き、本人の歴史を知る努力をする。 ・家屋調査や、情報共有は写真を積極的に利用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画	・初期支援の時に家族・介護者や地域との関係などをアセスメントし、変わらない関係を続けられるよう支援していく。 ・樫原市の地域資源や民生委員について把握できるようアンテナを張る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・（樫原市の）地域の資源を中心に支援し、セルフケア、家族や周りの方に担っていただけることはないか確認しながら、小規模多機能の支援介入ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	5	4	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	3	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	5	5	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	7	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・支援に入る前までの生活や、生活歴、友人関係等、把握するように努めている。 ・面会に関して時間や対応を、柔軟に対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・要望として他市町村への送迎等、希望があるが、地域密着型サービスである事をお伝えして、地域での資源を活用しての支援介入をさせて頂くことをご理解頂いている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・支援に入る以前の生活歴、生活スタイル、地域との交流を把握し、それらを中心に支援介入する事を続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日(9:00～12:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画	- 福祉用具、訪問診療、訪問看護、薬局などの介護医療サービスや「ふれあい収集」といった公的サービスや移動販売などの地域資源を有効に活用する。 - 利用者の状態の変化やニーズに対して必要なケアを提供できるように支援経過での情報共有とともに現場リーダーへの口頭での報告をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	制度や社会資源を中心に、介護保険のみでの充足はさけることができしており、地域と協力しながら運営できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	3	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	6	5	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 福祉用具、往診、訪看、薬局の介護医療サービスに加え、移動販売、ふれあい収集、見守り配食、シルバー人材、隣人等のような、社会資源と協力ができている。 - 本人の状態に加え、家族介護の状況に配慮し、柔軟にサービス提供ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- ミーティングの開催までは至っておらず支援経過や口頭での申し伝えが中心となっている。 - 勤務時間がバラバラであり、送迎時間、訪問時間が定まっておらず、ミーティングが開催しにくい環境である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 引き続き、介護医療サービスに加え、社会資源を有効活用し、地域と調和しながら運営を行う。 - 情報共有が行える朝礼の開催と日々の記録にて情報共有を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
6. 連携・協働	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	4人	4人	13人

前回の改善計画	・サロンと移動販売にて地域住民の方と積極的にコミュニケーションをとる。 ・こちらから地域に出ることを目的として地域の活動やイベントに利用者さんと参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・週に1回（土）の移動販売にて積極的にコミュニケーションをとっている。 ・米や修理等、地域で依頼し、ホームに定期的に来訪してもらえ、交流になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	3	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	0	3	9	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	1	2	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	7	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域包括や地域住民との会議や、2カ月に1回の業務推進会議にて交流を行っている。（地域ケア会議） ・移動店舗等があたり前になってきており、地域住民と顔なじみの職員も多い	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・移動販売やサロンの開催も行われていて、定期的な交流も確保できていると思うが、職員が交流という主旨を理解できていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・交流の機会は継続し、それぞれの職員が活動の主旨を理解し、参加、行動する。 ・引き続き、地域住民の方と自らコミュニケーションをとることを継続する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
7. 運営	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	5人	5人	13人

前回の改善計画	・事業所の在り方について職員の意見が出るように改善できるものは積極的に反映する。 ・ランチに参加された地域の方と職員がお話する時間を作り地域の拠点となるよう意見を反映する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ランチ開催場所の掃除のことについて意見が出たが、速やかに体制を構築できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	1	8	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	1	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	2	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	1	7	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・2カ月に1回、業務推進会議にて地域住民、利用者家族、各機関と意見交換を行っている。 ・意見頂戴した際、すぐに会議（1W以内）で共有し、改善できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ランチ担当が毎回違うため、悩みを打ち明けてくださった後、次回参加の際に細かくフォローできていない。 ・ランチ担当が毎回違うことで信頼関係が築きにくい環境である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域で何でも相談でき、安心して話ができる場所となれるよう引き続き、積極的に意見を反映させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画	・法人内の研修だけでなく、県・市が開催する研修に参加していく。 ・事故やヒヤリハットがあった時には少人数でも振り返りを行い再発防止策を周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・（市）ケアプラン研修・リハビリテーション研修、小規模ネットワークの会の勉強会等の参加をしている。 ・事故・ヒヤリハットがあった際は当日に対策会議を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	4	3	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	5	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	3	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修を受ける意欲は高い。 ・定期的な研修には参加できている。 ・行方不明事故があったとき、臨時的に集まり、具体的な対策がでるまで話し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スタッフ能力にあった研修を受けることができていない ・連絡会には参加しているが、情報の共有ができていない。 ・日々の業務に追われて、外部研修を受ける精神的な余力がない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・研修へ参加する機会もあり、意欲もあるが、職員の能力にあった研修をコーディネートしていく。 ・研修での学びを、資料を配る等の情報共有と、現場で生かせる場をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月12日（9:00～12:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	6人	2人	1人	13人

前回の改善計画	・フロアでの声掛けが適切か職員同士で注意し合う。 ・ファイルやパソコンの画面が個人情報に当たることを意識し、開けたままその場を離れないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・認知症対応によるふるまい、声掛け、言葉選びを気を付ける月間を設けることができた（9/26～11/15） ・注意書きをし、注意喚起ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	5	0	1	13
②	虐待は行われていない	10	2	0	1	13
③	プライバシーが守られている	2	7	3	1	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	4	4	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	8	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・金銭管理が心配な利用者に対し、権利擁護の観点から社会福祉協議会の日常生活自立支援事業と協力ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の通る場所にヘルパー室がありホワイトボードには利用者の個人情報が提示されている。個人情報流出防止のため、ヘルパー室をあけっぱなしにならないように配慮する必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・個人情報流出防止のためヘルパー室のあけっぱなしに気を付ける。 ・ヘルパー室での利用者に関係するTELやりとりをできるだけさける。	